

ウイルス性肝炎領域における北海道医療安全講習会

■ 背景

B型肝炎およびC型肝炎ウイルスについては、治療せずに放置すると肝硬変や肝がんに進化する恐れがありますが、肝炎ウイルス陽性となっているがいまだ治療に結び付いていないケースがあります。平成28年6月に改訂された「肝炎対策の推進に関する基本的な指針」（肝炎対策基本法9条1項）において「医療機関は、肝炎ウイルス検査の結果について確実に説明を行い、受診につなげるよう取り組む」と対策を促されている状況にあります。また令和5年3月9日に厚労省から「手術前等に行われる肝炎ウイルス検査の結果を踏まえた受診・受療・フォローアップの推進等の医療機関管理者への協力依頼」（健発0309第2号）が発出されより医療機関への対応が求められています。

■ 目的

北海道内の医療機関において、肝炎ウイルス検査結果の告知漏れを防ぐと共に、肝炎ウイルス検査において陽性となった患者さんを専門医受診に繋げる仕組みを構築する事により、ウイルス性肝炎患者の重症化予防と肝癌発症を予防する事。

■ 開催概要

日時：令和8年4月22日(水) 18:00～19:05

形式：Web開催（札幌駅近隣会場より配信）

（右記より登録後、視聴用のURLが送られます）

対象：（1）医療機関の責任者、またはそれに準ずる者
（2）医療安全部門責任者および医療安全部門スタッフ
（3）その他医療機関責任者が適任と認めた者



<ウェビナーID>
985 3278 9273
<パスコード>
20260422

Zoom URL

<http://abbvie/hokkaido/0422>

■ 講習会内容

総司会：北海道大学大学院医学研究院 内科学分野消化器内科学教室 教授 坂本 直哉 先生

講演Ⅰ 18:00～18:15 「北海道のウイルス性肝炎対策について」

北海道保健福祉部感染症対策局 感染症対策課 主査（感染症） 八十島 忍 様

講演Ⅱ 18:15～18:35 「医療機関に求められるウイルス性肝炎対策」

北海道大学病院 消化器内科 特任助教／北海道大学肝疾患相談センター長 大原 正嗣 先生

講演Ⅲ 18:35～18:50 「ウイルス性肝炎院内検査結果説明体制の構築について」

斗南病院 検査部 技師長 向山 奈津美 先生

講演Ⅳ 18:50～19:05 「多職種協働で構築したウイルス性肝炎検査結果告知漏れ対策

～スキーム構築から運用開始後の状況～」

日鋼記念病院 医療安全管理者 成田 洋子 先生

共催：北海道大学病院肝疾患相談センター・札幌医科大学附属病院肝疾患センター

旭川医科大学病院肝疾患相談支援室・アブヴィ合同会社

後援：北海道

お問い合わせ先：アブヴィ合同会社 田中 公博 Kimihiro.tanaka@abbvie.com 080-2194-5716